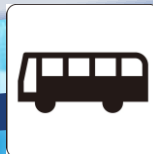




九州MaaS協議会 入会ご案内

Kyushu
MaaS
Grand
Design

Kyushu MaaS Council



■ごあいさつ

九州MaaS協議会は、九州地方知事会と九州の主要経済団体で構成された「九州地域戦略会議」が進めている、九州の成長戦略を目指す様々なプロジェクトの中の一つである「九州MaaSプロジェクト」から生まれた、2024年4月設立の新しい組織です。

公共交通は、地域の足と経済を支える社会インフラの一つとして重要な役割を担ってきましたが、マイカーの普及、高規格道路の延伸、人口減に伴うご利用の減少、燃料費の高騰など、長年に渡り厳しい経営環境下に置かれてきました。更に、コロナ禍の影響からも未だ完全に脱しておらず、加えて昨今の担い手の不足の問題は、交通業界に共通した大きな課題にもなっています。地域の交通サービスを従前と同じような形で提供し維持し続けることが、困難な状況になりつつあることを、現実として捉えなければならないと感じています。九州の重要な産業である観光においても、こうした交通の課題は、観光地へのアクセスの確保やインバウンドを始めとする観光客の受け入れといった観点からも、その対応が急がれます。

一方で、交通を取り巻く技術の革新はデジタル技術の進化に伴い日進月歩であり、MaaSや自動運転、シェアリングモビリティ、AIを活用したオンデマンド交通など、新たな技術やサービスが急速に広がっています。国土交通省が推進する「地域交通のり・デザイン」の政策においても、地域交通の活性化、利便性・持続可能性の向上には、こうしたデジタル技術の活用が重要であるとされています。

そして、これからの地域交通を考える上で、特に重要なキーワードは「共創」です。

我が国の交通は、これまで主に民間事業が担ってきました。過去の需要が旺盛な時代には、交通事業者同士が「競争」することでサービスの質を高めていく、という構図が成立していました。しかし、現在の厳しい経営環境下においては、異なる交通サービスがそれぞれの特性を活かして連携しながら、「地域交通ネットワーク」として地域の移動を支えていくことが重要になってくると考えます。MaaSは「Mobility as a Service」の頭文字を取ったものであり、「モビリティ＝移動のしやすさ」を「ひとつのサービスで提供する」ということを意味します。九州MaaSの実現に向けたチャレンジを始めることは、これまで「競争」してきた交通事業者同士が「共創」へと舵を切り、利便性が高く、持続可能な地域交通ネットワークの構築に向けて共に取り組むという、大きな転換点でもあったと考えます。

この「共創」は、交通事業者同士のみならず、地域交通・まちづくりのベースとなる各自治体の政策との連携、観光や商業、医療など移動の目的となる様々な地域のコンテンツとの連携した新たな移動ニーズの創出、といった観点においても、非常に重要になってきます。

九州MaaS協議会は、ご参画頂く官民の会員による「官民の共創」「交通事業者間の共創」「他分野も含めた共創」の「3つの共創」を基盤として、デジタル技術をしっかりと活用しながら、利便性が高く持続可能な九州のボーダレスな地域交通ネットワークの構築に向けた取り組みを推進して参ります。

本会の趣旨にご賛同を頂き、ご参画、ご支援を頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

一般社団法人九州MaaS協議会 会長 倉富 純男
(一般社団法人九州経済連合会 会長・西日本鉄道株式会社 会長)



九州MaaSグランドデザイン

2022年6月に開催された第41回九州地域戦略会議(※)において、(一社)九州経済連合会の倉富純夫会長から、ポストコロナにおける公共交通の利用促進と、九州観光復活の起爆剤として、九州が一体となった「九州MaaS」の構築することが提案されました。同会議で、各委員の了解を得て、九州各県の交通・観光部局、交通事業者、関連団体などで構成される、「九州MaaSプロジェクト研究会」が2022年7月に設立されました。

「研究会」で、約1年に及び官民での議論を重ね、九州MaaSの取り組みの背景となる課題、目指す姿や基礎理念、求められる機能や施策などを、「九州MaaSグランドデザイン」として取りまとめ、2023年5月、第43回九州地域戦略会議においてその内容が承認されました。

当協議会は、「九州MaaSグランドデザイン」の内容に基づき、その実現に向けて、九州におけるMaaS事業の円滑な実行を図ることを目的に設立されました。

(※)「九州地域戦略会議」:「九州はひとつ」の理念のもと、官民一体となって九州独自の発展戦略の研究や具体的施策の推進に取り組んでいくため、九州地方知事会の各県知事と主要経済団体(九州経済連合会、九州経営者協会、九州経済同友会、九州商工会議所連合会)により構成される会議体。年に2回定例会議を実施。

「九州MaaSグランドデザイン」は、
九経連のホームページで、ご確認頂けます。
<https://www.kyuukeiren.or.jp/committees.activity/464>



九州MaaSの目指す姿と基礎理念

「九州MaaSグランドデザイン」では、九州MaaSの目指す姿を「4つの基礎理念」にまとめました。

九州MaaSの目的

九州MaaSは、乗換えを前提とした様々な移動手段によって支えられる新たな交通ネットワーク像を前提とし、そのような社会環境においても公共交通が選ばれる環境を創出し、持続可能な地域公共交通の実現や観光分野等も含む移動の円滑化による地域経済の活性化を図る。

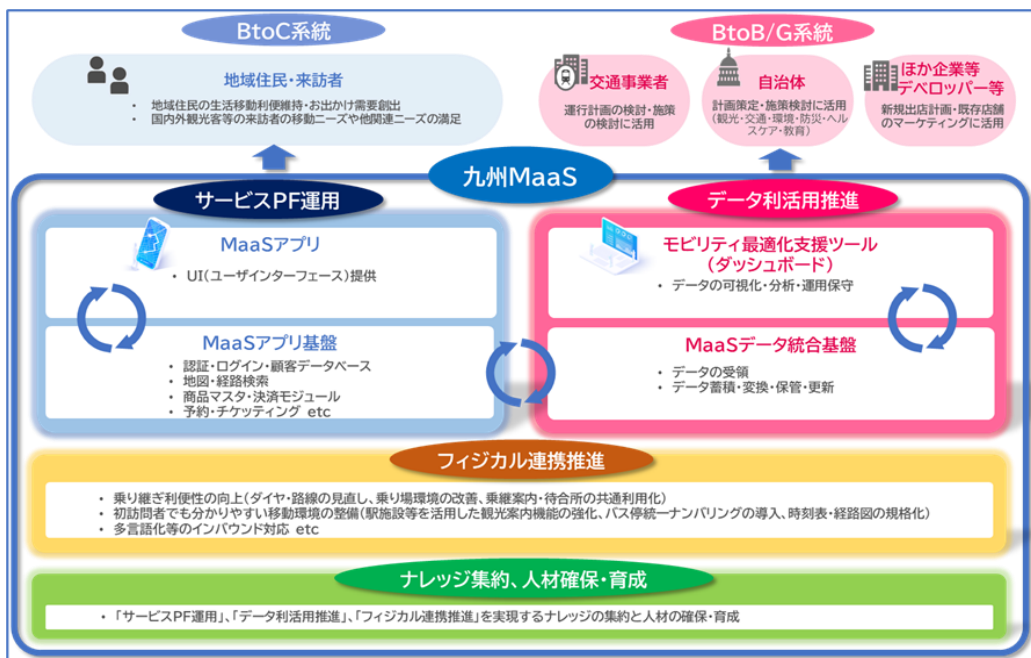
九州MaaSの目指す姿と基礎理念

九州MaaSは、九州が一体となって住民や観光客等の移動円滑化や異分野との連携を通じた移動需要の創出に取り組み、「公共交通の利用促進」「多極交流の実現」「九州観光の振興」を達成するとともに、「ナレッジの共有」「人材の育成」「スケール化によるコスト効率の追求」「ステークホルダーとの交渉力強化」を目指す。

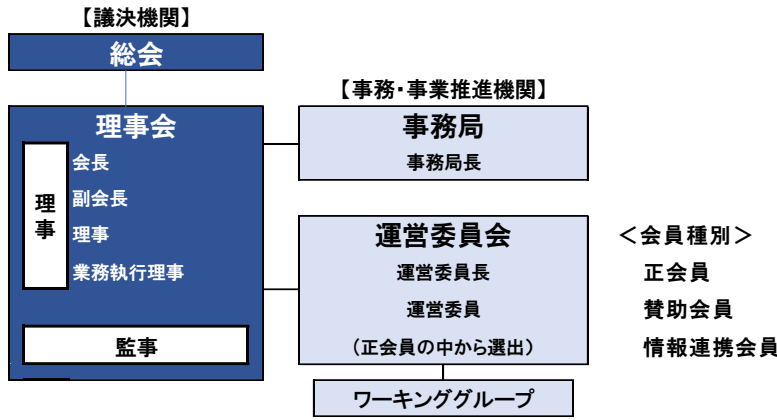
- | | |
|---------------------------------|---|
| 基礎理念①
ボードレス交通の実現 | ・多様な輸送サービスをつなぎ合わせ、モビリティサービスとして提供する機能を有するMaaSを活用し、交通モード、事業者、行政区域等のあらゆる垣根を越えたモビリティ環境「ボードレス交通」の実現に貢献すること |
| 基礎理念②
フィジカルなくしてデジタルなし | ・デジタル領域での連携に限らず、乗継時間を考慮したダイヤ編成や乗継環境の整備、初訪問者でも分かりやすい移動環境の整備等のフィジカル面での連携にも両輪で取り組むこと |
| 基礎理念③
共創による移動需要創出への挑戦 | ・公共交通ネットワークの維持を図る観点から、他の分野との共創に九州の官民一体で挑戦し利用の促進を図ること |
| 基礎理念④
モビリティデータ活用推進 | ・MaaSにより得られる旅客の移動データをICカードの利用データ等と統合することで生活シーン・観光シーンの両面での移動の実態を掴み、可視化・分析を通して、需給調整や新商品・サービスの検討及びEBPMの推進に活用すること |

九州MaaSの全体像

九州MaaSは、「サービスPF運用」「データ活用推進」「フィジカル連携推進」「ナレッジ集約、人材確保・育成」の4つを、取り組みの柱に掲げています。



九州MaaS協議会組織図



< 沿革 >

2022年5月

第44回九州地域戦略会議(※)で、同会議のプロジェクトとして、九州の官民が一体となったMaaSの実現に向けた検討に着手することが承認される。

2022年5月

「九州MaaSプロジェクト研究会」設立。検討を開始。

2023年5月

第46回九州地域戦略会議で、研究会で取りまとめた九州MaaSの理念や取り組みの方向性を定める「九州MaaSグランドデザイン」が承認される。

2023年7月

研究会を「九州MaaS実行組織準備会」に改組。九州MaaSに関する詳細な事業計画等の検討を開始。

2024年4月1日

「九州MaaS協議会」設立。

(※)九州地域戦略会議:九州地方知事会と九州の各経済団体による会議体。「九州はひとつ」の理念のもと、官民一体となって九州独自の発展戦略の研究や具体的施策の推進に取り組む。

< 会員種別 >

- 正会員
- 賛助会員
- 情報連携会員

会員種別・会費とご参加が可能となる協議会の取り組み

当協議会には、「正会員」と「賛助会員」の会員種別があります。下表のとおり、会員種別や業態により、年会費、参加可能な取り組みの内容が異なります。九州MaaSの取り組みを通じて、「公共交通の利便性向上と利用促進、九州地域の経済発展に貢献する」という、協議会の趣旨および規約などにご賛同いただき、その実現に向けて活動頂ける企業の方であれば、交通事業者に限らずご参画頂くことができます。

(※入会の可否については、当会内の規約に基づき判断させていただきます。)

会員種別	業態	例	年会費	会員の権利・参加可能な取り組み
正会員	旅客運送事業者	鉄道事業者、バス事業者、船舶事業者 など <small>※タクシー事業者・航空事業者については、現時点でサービスプラットフォーム上で直接的に提供可能なサービスの類型が定まっていないため、当面の間は、「正会員:その他事業者」または賛助会員として区分します。</small>	営業収益・輸送人員などの指標を用いて、当会ルールに基づき各社個別に会費を算出します。 必要な諸元値をご提供頂いた後、事務局で金額を算出しご案内します。 各社の年会費は、毎年度算出を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・総会での議決権 ・ワーキンググループへの参加 ・プラットフォーム(my route)を活用したサービス提供 (デジタルチケット発売、情報発信、自社サービスへのシステム間連携など) ・その他協議会が行う活動への参加
	パーソナルモビリティ事業者	シェアモビリティサービス提供者 レンタカー事業者 など	10万円/年	
	その他事業者	(タクシー事業者) (航空事業者) 金融・損害保険・情報通信事業者 ソフトウェア事業者(配車アプリを含む)ほか 交通事業者以外の事業者	大手企業(連結収益1000億円以上):50万円/年 それ以外の企業:10万円/年	
賛助会員	旅客運送事業者	鉄道事業者、バス事業者、船舶事業者、 タクシー事業者、航空事業者	2万円/年	<ul style="list-style-type: none"> ・総会への出席 (発言権・提案権はございません) ・協議会が認めるワーキンググループへのオブザーバー参加 ・その他、協議会が認める活動へのご参加
	パーソナルモビリティ事業者	シェアモビリティサービス提供者 レンタカー事業者 など		
	その他事業者	金融・損害保険・情報通信事業者 ソフトウェア事業者(配車アプリを含む)ほか 交通事業者以外の事業者		

ワーキンググループのご案内

九州MaaSの目指す取り組みの実現に向けて、特定のテーマや課題について、具体的な取り組み・施策などを検討を行うワーキンググループを設置します。ワーキンググループは、協議会に参画する九州各県、事業者の正会員によって構成され、九州MaaSで提供するサービスのコンテンツや輸送サービスに関連する内容、プロモーションのあり方、データの利活用など、関連する幅広いテーマについて、施策の検討・実施、好事例の共有や勉強会による水平展開などに取り組む、九州MaaSを推進します。

ワーキンググループは、正会員からの発議により設置され、取り組みの進捗状況や課題などを踏まえて、新設・改廃などを随時実施する予定です。

【設置予定のワーキンググループ(WG)とテーマ】

< サービスコンテンツ系 WG >	< プロモーション・観光系 WG >	< データ利活用系 WG >
<ul style="list-style-type: none"> ・MaaSアプリを活用したサービス ・複数事業者が連携したデジタルチケット ・地域のコンテンツと連携したサービス ・交通モード間のシームレスな乗りつき利便性向上に向けたダイヤ・サービス・施設・案内のあり方等の検討 ・パーソナルモビリティなどを活用した交通ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション活動 ・ポータルサイト運営 ・MaaSアプリ上での情報発信 ・観光関連団体、交通事業者以外との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ利用実績データの利活用 ・新たな決済手段を活用したデータ利活用 ・リアルタイム運行情報提供の検討

九州MaaSサービスプラットフォーム “my route”

九州MaaSでは、サービスを提供するプラットフォームとして、トヨタファイナンシャルサービス(株)が提供するマルチモーダルサービス”my route”を活用いたします。正会員は、“my route”の様々な機能を活用し、自社のサービスをご利用者に提供することが可能となります。



my route実績

ダウンロード数 : 82万件 2024年3月時点
月間チケット販売枚数: 5万枚超 2024年1月実績

my routeの活用例

《交通》

- ・交通系チケットの販売
実績: これまで150券種以上を販売。
- ・オンデマンドバスやシェアサイクルとの経路検索連携

《観光》

- ・各エリアのオススメスポット情報の掲載
実績: 九州各エリアの観光情報を掲載しています
- ・観光施設チケットの販売
実績: 出島、グラバー園など、観光施設のチケットを取り扱っています

《特徴》

- ・my route上で販売する交通チケットや、掲載するおでかけ情報は、ご利用者さまのパソコンで、直接入力し、作成することが可能です。

交通事業者の皆さまにご活用いただいている機能

チケット販売



交通チケット、観光施設チケット
交通+観光のセットチケットや、
クーポン付のセットも販売可能です！

2次元バーコード乗車券



マルチモーダルルート検索



電車やバスはもちろん、主要なサイク
ルシェアやオンデマンドバスなどと連携
済。予約ページまで遷移可能です。

「my route」の詳細は、右のQRコード
または以下のURLからご確認ください。
<https://top.myroute.fun/>



入会方法

① 入会手続き

本会担当者までご連絡ください。こちらよりご説明にお伺いいたします。
その後、ご入会申込書(所定様式)をご提出いただけます。
当会規定に基づき会費の算出を行う交通事業者様は、会費の算出に必要な諸元値を合わせてご提出いただけます。
入会に当たっては、当会規程に基づき、当会にて入会の可否の判断をさせていただきます。

② 会費

前ページに記載の年会費をご請求致します。
会費期間は4月から翌年3月までの1年間です。期間途中からの入会時は、翌月からの残月数分を月割りで計算します。
(会費の他、デジタルチケット発売に必要な各社個別の設定費用など、実費をご負担いただく費用があります。)

お問い合わせ先

一般社団法人九州MaaS協議会 事務局

〒810-0004

福岡県福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電気ビル共創館6階 (一社)九州経済連合会内

TEL 092(791)4268

E-mail jimukyoku@kyushumaas.or.jp